

# 京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2553回★★ 吉田 武さん 百名山完登記念 富士山3,776m	9月4日(木)～ 7日(日) 4日 6:30 烏丸五条 6:50 御陵ローソン前	岡本 義弘  清水 康裕	4日:竹田駅西口ー京都南 ICー富士ICーR139ー 鳴沢氷穴ー富士浅間神 社ー五合目テント泊 5日:五合目…富士山頂上… お鉢めぐり…吉田口下 山道…八合五勺御来光 館泊 6日:御来光館…六合目安全 指導センター…五合目ー 富士スバルラインー富 士パノラマラインー富 士浅間神社ーホテル ニュー富士 7日:ニュー富士ーR138ー 御殿場ICー京都南IC
備考 装備 小屋泊まり, 防寒衣類, 着替え 費用 50,000円 参加希望者は, 担当者まで必ず連絡願います。			
第2554回★ 芦屋ロックガーデン から六甲山	9月13日(土) 9:00 阪急芦屋川駅集合	堀田 剛	芦屋川駅…芦屋ロックガーデ ン…風吹岩…雨ヶ峠…六甲最 高峰…有馬温泉会館(入浴)
備考 参加希望者は, 担当者まで必ず連絡願います。			

第2555回★	9月20日(土) 7:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	竹田駅西口ー京都縦貫道ー舞鶴ー由良…由良ヶ岳(往復) (帰路温泉入浴)
備考 参加希望者は、担当者まで必ず連絡願います。			
<b>今月の集会</b>		<b>企画運営委員会</b>	
日時	9月12日(金) 18:30~	日時	9月19日(金) 18:30~
場所	holly's café (ホリーズ カフェ)	場所	holly's café (ホリーズ カフェ)



やっと暑さの峠を越した感がある。

剣岳・立山登山は、残念ながら立山のみとなり剣岳はまたの機会となった。初日の立山は快晴であったが、2日目は朝から雨風の悪天候で剣岳は断念した。報告は次号で。

立山は富士山、昨年夏に登った白山と共に日本三霊山とされている。山頂の「立山雄山神社」は平成8年に百三十六年ぶりに建替えられたもので、願いごとを書いた河原石が敷かれてあった。

剣岳は来年映画公開される、新田次郎の小説「剣岳 点の記」でますます人気の山となるだろう。

OBで名誉部員の吉田さんの百名山登頂最後を飾る富士山登山が9月に予定されている。霊山続きで、何か不思議な気がする。

あまり明るいとは言えない世情にあって、山は大賑わいである。何が多くの人々を引きつけるのか。その人々の気持ちを知っていくことが、これからの社会を活力あるものとしていくのではないかと思うのである。

山登りは、個人の体力、技術、状況に合わせて山を選べるのである。万人に楽しみややすらぎを与える点からも、山が愛される所以ではないだろうか。

(H20. 8. 25. 記 T. H.)

### 【第2551回例会】

## 奈良 三峰山 (一等△本点1,235.4)

井戸 澄夫

三峰山は奈良県と三重県の県境で、高見山から東に延びる三峰山脈の主峰である。

高見山はその姿・形の美しさ故に日本の名山として名高いが、たった10mほど低いだけなのに三峰山は山岳愛好家以外にはあまり知られていない山である。しかし一等三角点が設置されているように

眺望は絶佳であり、冬の霧氷の美しさは高見山以上といわれている。

竹田駅西口で4人、途中の田原本で1名が小生のタウンエースに乗車して、桜井から榛原を抜け、国道369の神末から村道に入る。みつえ青少年旅行村を過ぎたところから左に折れて林道をしばらく登ると登り尾コースの登山口であり、トイレ付きの立派な休憩所がある。標高750mであるが夏の日差しは強烈で湿度も高い。登り尾コースはなだらかな尾根道であり、杉・松の樹林帯を登るので木陰が多いが、それでも汗が滝のように吹き出る。

高見山に連なる主稜線に出ると、ナラ・シイ・カシ等の原生林となる。ここから三峰山頂までが冬の霧氷のきれいな場所であるらしい。山頂は切り開かれており、北側の眺望が良い。倶留尊山・古光山・大洞山・尼ヶ岳などの室生火山群の山々がよく見える。山頂で昼食にしたが、ハエ（アブ）がまとわりついてうっとうしい。蚊取線香や虫除けスプレーで防衛したが、なかなか撃退は難しい。食事後、山頂の南側にある八丁平に回った。ヒメザサに覆われた高原で気持ちのよいところである。下りは不動滝へのコースをとったが、登りと違いかなりの急坂である。不動滝は幅10m、長さ20mほどで、70度くらいの傾斜を水が走り、滝壺は浅い。水量はわりと多く、日差しを受けて虹が出ている。不動滝から登り尾の登山口までは、林道を30分程登り返さねばならず、炎熱の直射日光で本日一番つらい登りであった。みつえ青少年旅行村は水遊びやバーベキューを楽しむ家族連れで賑わっていた。帰路、倶留尊高原の「お亀の湯」に入浴した。つるつるの湯が気持ちよい温泉である。

【コースタイム】2008年8月9日

7:00竹田駅西口-(R24)-8:00田原本-桜井-榛原-(R369)-神末-10:00  
登り尾コース登山口10:10...11:10避難小屋...11:45三峰山山頂(昼食)12:50...  
13:00八丁平...13:45不動滝...14:30登り尾登山口-15:00お亀の湯16:00-帰路-  
19:00竹田駅西口

【参加者】岡田茂久、渡辺智生、森本清一、堀田剛、井戸澄夫(5名)

## 【個人山行】

### 鍋尻山 三等三角点839m

坂井久光

山の会の山崎さんのお誘いで8月4日JR宇治駅に午後2時に待ち合わせて、国道306号線を走り、宇治田原から朝宮・信楽・水口を走り、夕刻多賀大社の駐車場に着いた。今夕万灯祭があるとのことで、駐車場は満車になり、夕食後売店で賑わう街を散歩して多賀大社に参拝し午後7時からの有志のカッポレを踊りや多賀音頭を二人で見物した。解説によるとカッポレは大阪の住吉神社で生まれたもので、後にお江戸に伝わって有名になったとか。午後9時頃に涼しい所を求めて、芹川上流の保月に一車線の細道を走り、河内の風穴の分岐を右にとり、手前の杉郷の廃村(教場の廃屋や寺跡があった)の広場でテントで一泊。夜は寒いくらいだった。翌5日朝食後、保月に向かって出発。部落の手前に登山口があり駐車して出発。此所等辺の山は皆石灰岩地質でカルスト地形の山が多く、皆の山もそうだった。はっきりした登山路はあったが、頂上直下で踏み跡が多く、先の山崎さんと分かれて左の道にそれたが、すぐ上で待っていてくれて、合流して三等三角点のある頂上へ。

少時休んで下山して、湖岸道路を長浜公園へ。今晚7時から花火大会があると言うので駐車場はすぐ満杯。店も出て夕刻人も沢山集まり公園は一杯で、対岸の長浜のホテルで打ち上げる花火を見る絶好の場所で、涼しい風が吹いて午後山崎さんはウインドサーフィンに興じた。翌日6日午後2時頃迄

風を待ったが弱かったので、彦根経由名神で草津一字治に出て、別れて帰った。

## 【個人山行】

# 尾瀬ヶ原と尾瀬沼

OB 吉田 武

平成20年7月18日（金）

田舎の親しい友達4名で竜王ICから大雨のなか名神に乗った。ただひたすらに中央高速から諏訪IC、そしてR299の麦草峠を越えて佐久ICから上信越自動車道を藤岡JC、関越自動車道沼田IC R120を片品村鎌田まで走り、雨がやっと小降りになってきたので日本の滝100選「吹割の滝」を見学して尾瀬戸倉片品温泉の「玉城屋」さんに入った。

尾瀬戸倉から鳩待峠間のマイカー規制になってからは4回目の玉城屋さんでのお泊りである。

7月19日（土）

天気も良く、乗り合いタクシーで鳩待峠まで行きアヤメ平にむけて歩いた。平成17年に来たときよりもコースがよく整備されていたので気持ちよく歩けた。ウグイスの励ましにも見送られ1時間程歩いたら森林が無くなり笹原の景色の良い場所に来た。右側には日光連山、左には景鶴山、正面左手には燧ヶ岳が見えて最高の景色である。本来なら景鶴山の奥に平ヶ岳が見えるのだが雲がかかって残念ながら見えない。

アヤメ平「中原山三角点」に着いた。景色を見ながら小休止、尾瀬も何度となく来ているが、僕はここが一番好きな所で日本一と思っている。

富士見小屋で用をたして長沢新道分岐で写真を撮り木道で横になって休憩をしていたら木道ごと揺れて地震と直ぐわかった。震度3ぐらいかな、地球が揺れるのを初めて体験した。1時間半くらい下ったら尾瀬ヶ原に着いた。ニッコウキスゲはまだ早いようで、まだ蕾ばかり沢山あった。

竜宮十字路から今日泊まる「原の小屋」まで30分ゆっくりと歩いた。山小屋にチェックインして近くの景色を写した。

7月20日（日）

下田代から段小屋坂を越えて白砂乗越を越えて沼尻まで2時間ほどであった。用をたして尾瀬沼の北側のルートをとった。ニッコウキスゲが少し咲いていた。大江湿原ではもっと咲いていると思ったが、この時期にしては少なかった。三平峠下で昼食をして三平橋まで来た。平成9年ここから「センノ沢」の沢登りをして三平峠したから同じルートで帰ったことを思い出した。センノ沢は短い沢ではあったがナメが綺麗だった。

大清水までは砂利道を1時間、大清水に着いてすぐにタクシーで玉城屋まで帰った。奥利根湯けむり街道（紅葉の美しい所）を抽六峠（コンロク）を越えて日本一の温泉 宝川温泉「汪泉閣」に入った。

7月21日（月）～22日（火）

宝川温泉からR291を走り「谷川岳一の倉沢」の岸壁を見学、雲が垂れて30%位しか見えなかったが、感激してもらったみたいだった。

水上から新治村をとおり中之条から草津温泉をとおり志賀高原の平床にある志賀「石の湯ホテル」に1泊して帰った。

# 部 員 動 静

目 的 地	月 日	参 加 者	記 事
<p>駆け足で百名山を5山登ってきました。(これで、37山になりました) 幸い、天気もまずまずでしたし、多くの花が癒しを与えてくれました。</p>			
(草 津) 白根山 【万座温泉泊】	8月3日	山元 誠一	<p>志賀高原で湿原散策を楽しんだ後、草津白根山火口[P]へ。</p> <p>白根山登山道脇には、コマクサとイワシャジン(?)が咲き誇っていました。</p> <p>そして、何故かノンビリ歩くカモシカの姿も見られました。</p>
(吾 妻) 四阿山 【孀恋 P泊】	8月4日		<p>雨の中、孀恋パルキャビン頂上駅(ゴンドラ)から頂上を目指しました。</p> <p>二等三角点は頂上200m程度手前の稜線にありました。</p> <p>パルキャビンは50歳以上はシニア料金が適用されましたが、複雑な気持ちでした。</p>
(浅 間) 黒斑山 【小諸 H泊】	8月5日		<p>孀恋から、広大なキャベツ畑の農道をたどって、車坂峠に行くこととしましたが、途中道に迷ってしまうはめになりました。</p> <p>黒斑山頂上の指呼の間に雄大な浅間山の姿が見えるはずでしたが、生憎、ガスでその裾野だけが少し見えました。</p> <p>登山道脇にはウスユキソウが多く見られました。車坂峠ではニッコウキスゲとヤナギランの群落に癒されました。</p>
(霧ヶ峰) 車 山	8月6日		<p>帰京の駄賃とっては、何なのですが、小諸～蓼科～ビーナスラインをたどり、車山へ。車山肩[P]から40分で頂上に到着。</p>
(美ヶ原) 王ヶ頭	8月6日		<p>さらに、もう一山、美ヶ原の王ヶ頭へ。</p> <p>美ヶ原高原[P]から、牛と馬が群れ遊ぶのどかな牧場の中を歩くこと、50分、王ヶ頭ホテル裏にある頂上(三等三角点)に到着。</p> <p>青空の下、美ヶ原高原の雄大さを実感しました。</p>

西暦年	年号 年	沢 名	流域山名	標 高	参 加 者	月 日
1986	昭和61年	笛吹川	甲武信岳	2,475	大槻・岡本義・吉田 甲武信小屋	8月23日
		東沢 釜ノ沢	破風山	2,317		8月24日
1987	昭和62年	割引沢	巻機山牛ヶ岳	1,967	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺 一の倉沢の避難小屋	8月28日
		堅炭尾根より	一の倉岳	1,968		8月29日
1988	昭和63年	登山	会津駒ヶ岳	2,132	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺 栃尾又温泉	8月27日
		平ヶ岳沢	平ヶ岳	2,139		8月28日
1990	平成2年	笹穴沢	平標山	1,984	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺 苗場山頂遊仙閣	8月24日
		登山	苗場山	2,145		8月25日
1991	平成3年	登山	十種ヶ峰	989	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺 林道にテント張る	9月15日
		登山	安芸冠山	1,338		9月16日
1992	平成4年	登山	越後駒ヶ岳	2,002	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺 牟礼小屋	8月22日
		登山	守門山	1,537		8月23日
1993	平成5年	登山	白砂山	2,139	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺・田村 大清水でテント	8月20日
		センノ沢	尾瀬・皿伏山	1,916		8月21日
1996	平成8年	不動沢	皇海山	2,143	大槻・岡本義・吉田・三橋・渡辺・田村 大清水でテント	8月30日
			黒岩山	2,162		8月31日
		北岐沢	奥鬼怒山	2,140		
			物見山	2,113		
1997	平成9年	キュウハ沢	丹沢山	1,587	大槻・岡本義・吉田・ 三橋・渡辺・松浦・方山・岡田 丹沢小屋	8月30日
			蛭ヶ岳	1,673		8月31日
			塔ノ岳	1,491		
1998	平成10年	登山	二ノ峰	1,962	大槻・岡本義・吉田・森本・田村 上小池野営場	8月29日
2001	平成13年	沢上谷	上宝村		大槻・岡本義・吉田・清水・江草・渡辺 栃尾温泉赤い橋の下	8月24日
		荒城川右俣				8月25日
2002	平成14年	魚野川 仙ノ倉沢西ゼン	平標山下部ま で	1,900	大槻・岡本義・吉田・清水・江草・渡辺 土樽でキャンプ・貝掛温泉	8月24日
2003	平成15年	白毛門沢	白毛門山	1,720	大槻・岡本義・吉田・ 清水・江草・三橋・岡本勇 土合でキャンプ・法師温泉	8月22日
2004	平成16年	登山	高社山	1,352	大槻・岡本義・吉田・清水・江草・渡辺 切明温泉 雄川閣	9月18日
			鳥甲山	2,038		9月19日
2005	平成17年	上州武尊山の武尊沢廻行予定が増水のため袋田ノ滝を見学 宝川温泉 汪泉閣は最高の温泉だった。			大槻・岡本義・吉田 宝川温泉 汪泉閣	8月13日
2006	平成18年	上州 武尊沢	上州武尊山	2,158	大槻・岡本義・吉田・松浦・谷口義 林道奥の駐車場でテント	8月12日
2007	平成19年	両神山神流川	両神山	1,723	大槻・岡本義・清水・田村	8月18日
		金山沢	三国山・国師ヶ岳	1,828・2,592		
2008	平成20年	笛吹川東沢	三宝山	2,483	江草・大槻・清水・松浦・ 室谷・田村・吉田	7月25日
		釜ノ沢東俣	甲武信岳	2,475		7月27日

# 山の雑岳シリーズ

その6

吉田 武

## 歴史にゆかりのある山と峠 (昭文社 「なるほど地図帳」より抜粋)

合 戦 の 山	1	石橋山の戦い	1180(治承4)年、伊豆で挙兵した源頼朝は鎌倉に向かうが、石橋山で大庭景親軍との戦いに敗れる。味方の土肥実平の配慮で、頼朝は真鶴から舟で安房に逃れた。
	2	木曾殿越え	1180(治承4)年、以仁王の平氏追悼の令旨に応じて、木曾義仲は空木岳の北の鞍部を越えて伊那に達した。義仲が越えたことから「木曾殿越」の名がある。
	3	倶利伽羅峠 (砺波山)	1183(寿永3)年5月、木曾義仲は火のついた松明を牛の角に結びつけた「火牛の戦法」で倶利伽羅峠に陣を敷いていた平維盛を破る。
	4	岩櫃山落城	信玄配下の真田幸隆が最後まで攻めあぐねたのが、城主斉藤憲広のいる岩櫃山であった。だが、斉藤勢内部の崩壊により1563(永禄6)年ついに落城した。
	5	岩殿山の裏切り	信長との戦いに敗色が濃くなった武田勝頼は、武田家の家臣小山田信茂の城のある岩殿山への籠城を決意。だが、小山田信茂の謀反にあい、1582(天正10)年敗走中に自害。
	6	賤ヶ岳の戦い	1583(天正11)年4月、織田家の家臣柴田勝家と羽柴秀吉が信長の後継者として地位を争った古戦場。大垣城にいた秀吉は近江へ取って返して大勝を得た。
	7	石垣山一夜城	1590(天正18)年6月、豊臣秀吉はひそかに小田原城の西方3kmの石垣山の上に壮大な城郭を築いた。後に一夜城といわれた秀吉の奇襲作戦は、北条方の士気をそぐことに成功した。
	戊辰戦争の傷跡		1868(慶応4)年
	8	那須岳 (三斗小屋宿)	旧会津中街道の三斗小屋宿では日本有数の山岳戦が行われた。双方で15人の戦死者をだし、さらに新政府軍により三斗小屋宿の全14戸が焼失。
	9	尾瀬 (大江湿原)	会津藩は、会津沼田街道からの新政府軍の侵攻に備えて大江湿原に防塁を築いた。だが新政府軍は尾瀬を越えたため、両軍は戸倉で交戦した。
	10	母成山	会津藩は母成峠に陣を築いたが、新政府軍の本隊は石庭村民を道案内としてこれを突破。猪苗代に達した。
11	飯盛山	8月23日、新政府軍は戸ノ口原から若松城下に進入。新政府軍が町屋に火を放った火煙をみて、飯盛山の白虎隊員のうち20人は若松城が落城したと見誤り、自刃。	

# 例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2550	笛吹川東沢釜の 沢遡行	7月25日 ～27日	晴	吉田 武	江草 哲史 大槻 雅弘 清水 康裕 室谷 和彦 松浦 健一 田村 正弘	(次号報告)
2551	奈良 三峰山	8月9日	晴	井戸 澄夫	森本 清一 渡辺 智生 岡田 茂久 堀田 剛	(別稿詳報)
2552	剣岳・立山	8月22日 ～24日	晴 雨	清水 康裕 堀田 剛	井戸 澄夫	(次号報告)

## 雑 報

### △△△ 8月の集会

日 時 8月7日(木) 18:30～  
場 所 holly's cafe (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)  
出席者 井戸, 大槻, 岡田, 坂井, 清水, 吉田, 渡辺, 和田 以上8名  
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

### △△△ 7月の企画運営委員会

日 時 7月23日(水) 18:30～  
場 所 holly's cafe (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)  
出席者 方山, 清水, 堀田 以上3名  
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

### △△△ 他山岳会の会報(受贈分)

8月号 京都山岳, 青嶺  
8・9月号 山友



△△△ 京交山岳部創部60周年「記念誌」原稿募集について

平成20年6月号でお知らせしましたとおり、現在、「60周年記念誌」の作成に取り組んでいるところですが、部員の皆様から次の内容で原稿を募集したいと思いますので、よろしくお願ひします。

【内 容】 「京交の思い出」という内容で、京交山岳部と各部員の皆さんとの関わりのほか、山に関する内容であれば、なんでも結構です。

字数は、部報で1ページ程度(1,200字程度)、写真等も併せて投稿してください。

【締め切り】 平成20年12月末日

記念誌担当の清水、松田までお願ひします。

△△△ 平成20年度部費受領者について

8月20日現在、前号までに掲載しました部費受領者に加えて、次の方々から平成20年度会費を受領しましたので報告します。

(敬称略) 大杉雅晴, 山口雅直, 上村次男, 石田和男, 河村 清, 中山忠之, 鷺見壽末子, 石川かず榮, 古市昌造, 台川敦美, 山田富男, 山下周道

計 報

OB部員の筈田昭氏(享年79歳)におかれましては、12月26日に薬石効なく逝去されました。

衷心よりご冥福をお祈りいたします。